

# 「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 3 月 31 日

事業名称		広報活動費[PR物品売払事業]							
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 3	広報費	事業番号	1	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	秘書広報		課		広報		係	課長名	五十嵐 孝雄
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	行 - 3		
【施策名】 市民自治の向上						総合計画書(ページ)	127		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	市民			世帯数(令和2年4月1日現在)					
	→								
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
市への愛着を深める。また、PR物品を見た方が東大和市に関心をもつ。			累計の販売部数 ①刊行物「今はむかし大和村」 ②絵入り名刺(8種)						
→									
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
下記の物品を販売した。 ①刊行物「今はむかし大和村」 ②絵入り名刺(8種)			当該年度の販売部数						
→									
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	
	対象指標	①の数値	世帯	38,705	38,895	39,302			
	成果指標	②の数値	冊・組	①418 ②2,837	①425 ②3,018	①433 ②3,097			
	目 標	②の目標値	冊・組	①420 ②3,000	①430 ②3,200	①440 ②3,400	①450 ②3,300	①460 ②3,400	
		目標値設定の考え方 PR物品の販売をとおしてより多くの人に市への愛着を深めてもらう							
活動指標	③の数値	冊・組	①18 ②149	①17 ②181	①18 ②179				
3 経費	事業費(実績)		円	223,560	0	260,700	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	223,560	0	260,700			
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0			
		(うち受益者負担)	円						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1			
		所要人数(再任用)	人						
		職員人件費(再任用以外)	円	824,400	831,000	838,000			
職員人件費(再任用)	円								
事業費+人件費		円	1,047,960	831,000	1,098,700				
4 環境変化等	(1) 開始年度 「今はむかし大和村」は昭和60年、多摩湖の絵入り名刺は昭和63年								
	(2) 環境の変化 ・「今はむかし大和村」に関しては、開始当初と比較して年間販売部数が大きく減少している。 ・平成25年度からプリンターで対応できるA4サイズの名刺シート(多摩湖の四季のデザイン)を販売している。 ・平成27年度に上記の名刺シートに変電所のデザインを追加した。 ・平成29年度にうまかんべえ~祭及び平和市民のつどいで販売を始めた。 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、うまかんべえ~祭及び平和市民のつどいが中止や動画配信となり、両イベント会場での販売ができなかった。								

事業名称	広報活動費[PR物品売払事業]			
担当部署・課長名	秘書広報	課	広報	係 課長名 五十嵐 孝雄

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：⑧ (PR物品の販売で、市民に市への愛着をより深めてもらう)		
	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 (広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他 ( )		
(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 PR物品の販売により、市民に市への愛着をより深めてもらうことができ、それが様々な場面における市民協働につなげることが出来る				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) より一層のPR物品の販売促進のため、市制50周年という節目の年にあたり、市制50周年記念式典で販売するなど、購入の機会及び場を拡大していく必要がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 開始当初と比較して年間販売部数が大きく減少している刊行物「今はむかし大和村」について、コミュニティビジョンによる広報を行った。また、内容を確認したうえで購入することができるよう、秘書広報課窓口及び市政情報コーナーに見本品を設置し、市公式ツイッター、市公式フェイスブック及び市公式LINEでその旨を周知した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 秘書広報課及び郷土博物館で販売しているが、手にした方が内容を確認してそのまま購入できるように、見本品を設置している市政情報コーナーでも購入できるようにする。			
	8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名： 市民自治の向上 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名 ( )			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 PR物品の販売促進のため、市公式ツイッター、市公式フェイスブック及び市公式LINEで積極的に広報を行う。新たな購入の機会及び場を立案する。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	新たな購入の機会及び場の立案にあっては、在庫や販売代金の管理について関係機関と調整が必要である。			